

第3回 京丹波町地域福祉計画策定委員会 次第

平成28年2月26日（金）

午後1時30分～

瑞穂保健福祉センター 2階

集団指導室・健康学習室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

（1）アンケート調査結果（中間）報告について

（2）次年度の計画策定スケジュール（案）について

（3）その他

・第4回地域福祉計画策定委員会の日程調整

平成28年6月 日（ ）

4 閉会 副委員長あいさつ

京丹波町 地域福祉計画策定のためのアンケート調査

集計結果の概要報告

〔調査の目的〕

本調査は、平成 29 年度を初年度とする「京丹波町地域福祉計画」の策定にあたり、京丹波町に住む 18 歳以上の方を対象に、生活全般にわたる現状や課題、各種福祉サービス利用上での問題点、今後のサービスや施策に対するニーズ等を把握させていただき、計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

〔実施方法〕

- 1) 調査地域 : 京丹波町全域
- 2) 調査基準日 : 平成 27 年 12 月 1 日
- 3) 調査対象者 : 町内在住 18 歳以上の住民 3,000 人（無作為抽出）
- 4) 調査実施時期 : 平成 27 年 12 月中旬～12 月 25 日
- 5) 配布・回収方式 : 郵送による配布・回収

〔配布・回収状況〕

	配布数
配布数	3,000 票
回収数	1,533 票
回収率	51.1%

〔調査結果の見方〕

SA＝単数回答：「1 つに○」など選択肢を 1 つ選ぶ質問形態

MA＝複数回答：「あてはまるものすべてに○」「○は 3 つまで」など 2 つ以上の選択肢を選ぶ質問形態

FA＝文字記述による回答

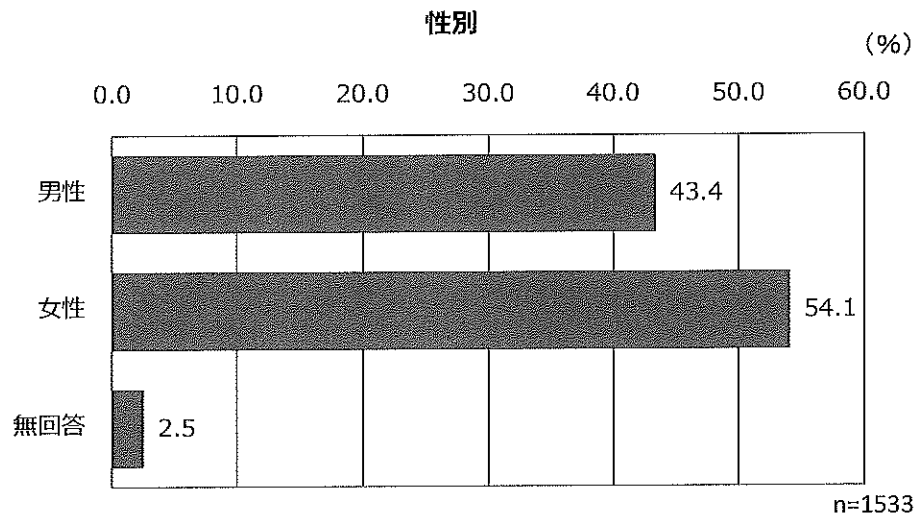
- ◇ グラフにおける“n”は、当該設問に回答すべき者（回答対象者）の人数を示している。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示している。
- ◇ 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示している。
- ◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

京丹波町 地域福祉計画策定のためのアンケート調査 設問構成

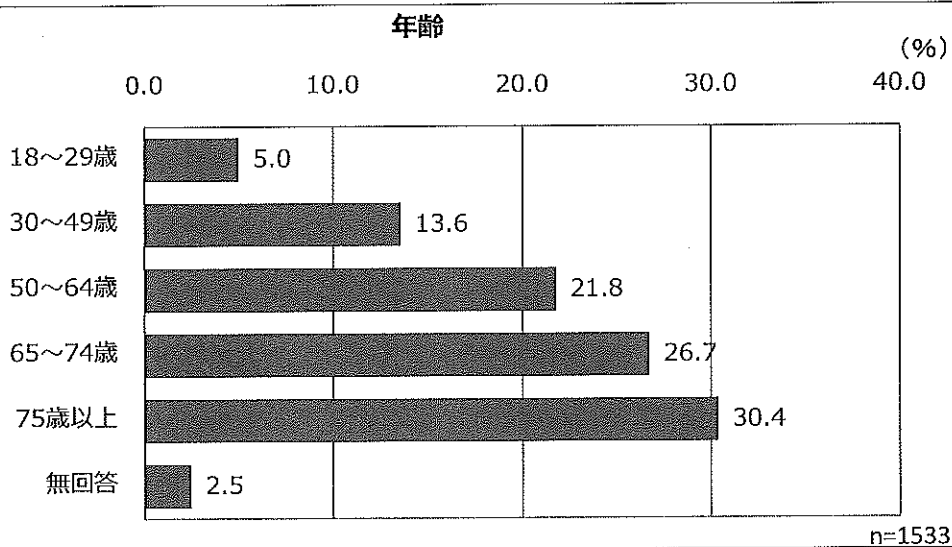
ご自身のことについて (回答者属性)	問 1	性別	S A
	問 2	年齢	S A
	問 3	家族構成	S A
	問 4	世帯の状況	MA
	問 5	職業	S A
	問 6	居住歴	S A
	問 7	住まいの地区	S A
福祉について	問 8	福祉への関心	S A
	問 8-1	関心のある福祉の分野	MA
	問 9	福祉を必要とする人の支援の方法	S A
	問10	福祉の理解を深めるために必要な機会	MA
地域との関わりについて	問11	将来も京丹波町に住み続けたいか	S A
	問11-1	住み続けたい理由	MA
	問11-2	住み続けたくない理由	MA
	問12	ご近所や地域の方からの支援	S A
	問12-1	どのような時に支援されたと感じたか	FA
	問13	近所付き合いの程度	S A
	問13-1	近所付き合いがない理由	S A
	問14	今後の近所付き合いについて	S A
地域活動やボランティア活動 について	問15	地域活動の状況	S A
	問15-1	参加している地域活動	MA
	問15-2	活動の目的	MA
	問15-3	現在活動していない理由	MA
	問16	ボランティア活動の参加状況	S A
	問16-1	参加したボランティア活動	MA
	問16-2	ボランティア活動に参加してよかった点	MA
	問16-3	ボランティア活動をする上で必要な改善点	MA
	問17	参加したい地域活動やボランティア活動	MA
	問17-1	参加したくない理由	MA
地域における生活上の課題 について	問18	支え合い、助け合い活動の活発化に必要なこと	MA
	問19	困っていること、悩みや不安	MA
	問20	困ったときの相談先	MA
	問21	地域の生活課題を抱えている人を知っているか	S A
	問22	助けを求められたときの対応意向	S A
	問22-1	対応したくない理由	S A
災害時における助け合い について	問23	助けが必要なときに欲しい支援	MA
	問24	災害発生時に地域で気になる人の有無	S A
これからの福祉のあり方 について	問25	災害時の備えとして重要なこと	MA
	問26	知りたい福祉の情報	MA
	問27	福祉サービスの情報の入手先	MA
自由意見	問28	住み慣れた地域で生活するために大切な福祉のあり方	MA
			FA

1. あなたご自身のことについて

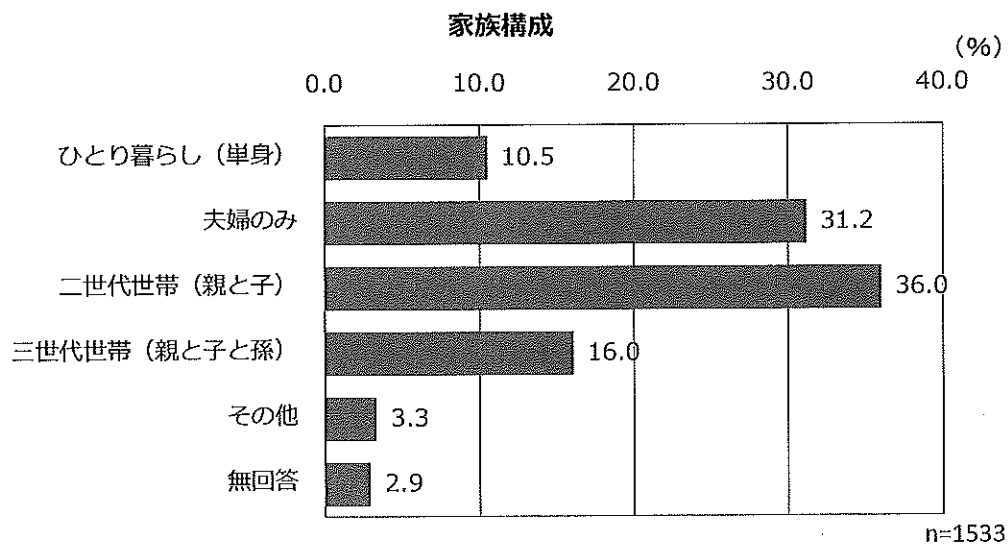
問1 性別（SA）



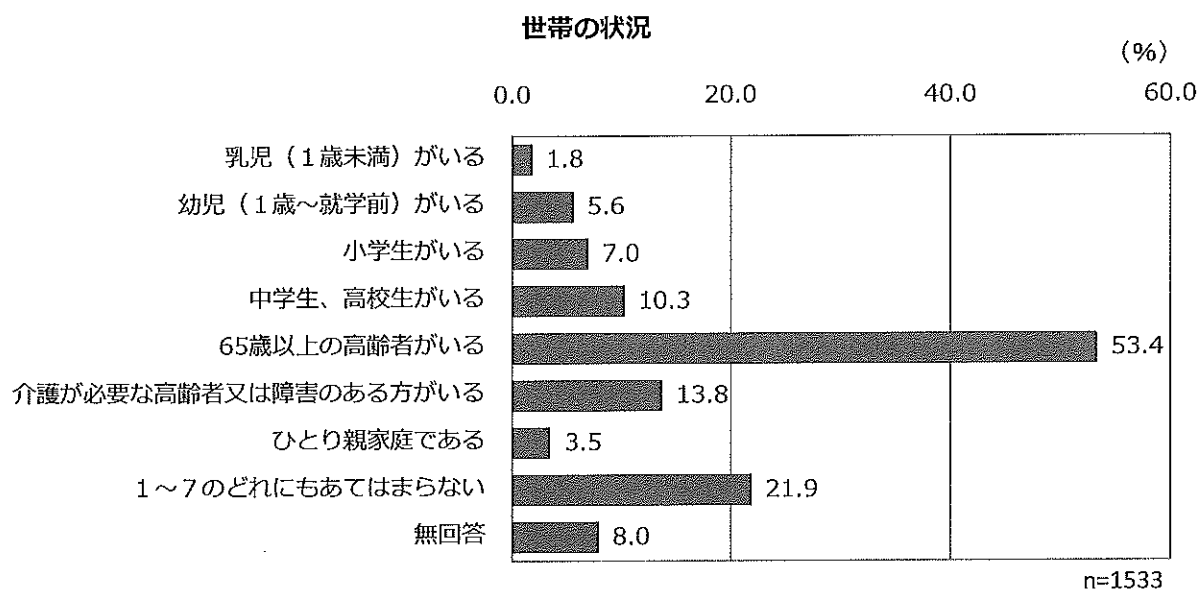
問2 年齢（SA）



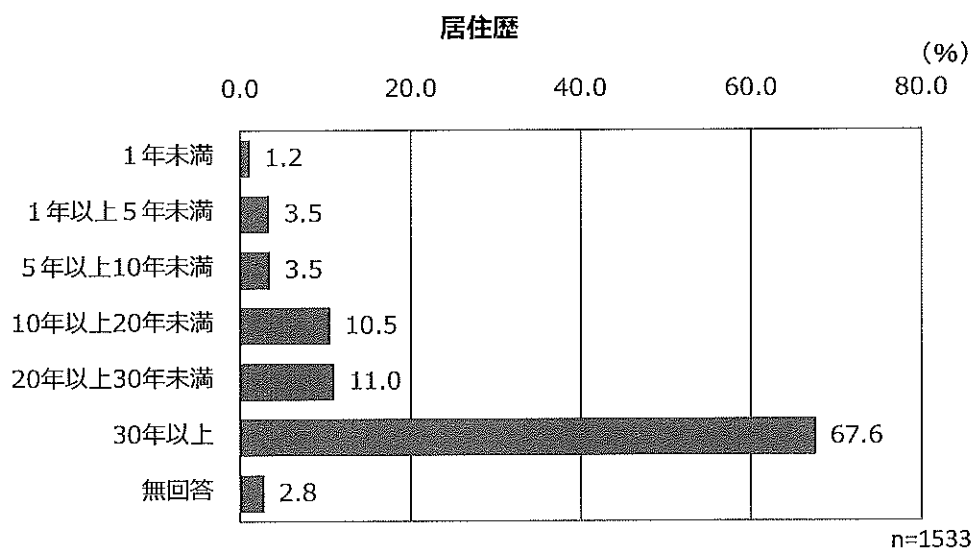
問3 家族構成（SA）



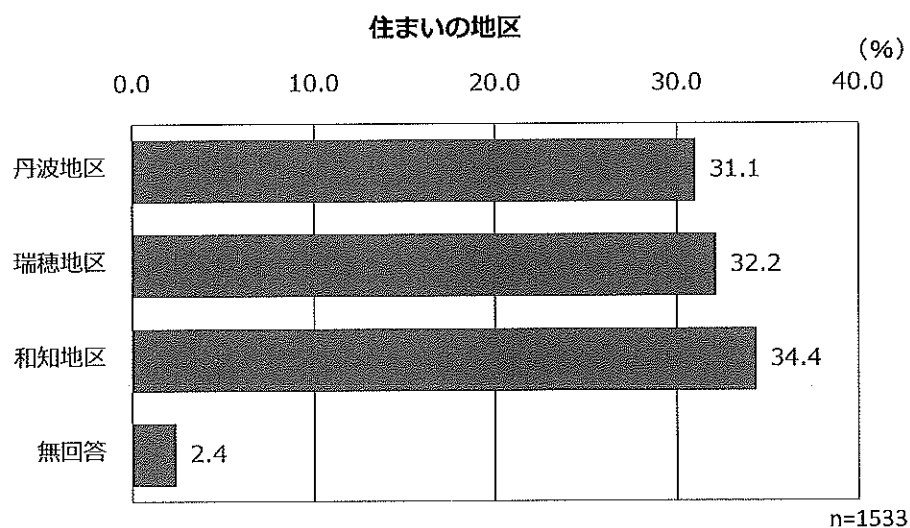
問4 世帯の状況（MA）



問6 居住歴（SA）



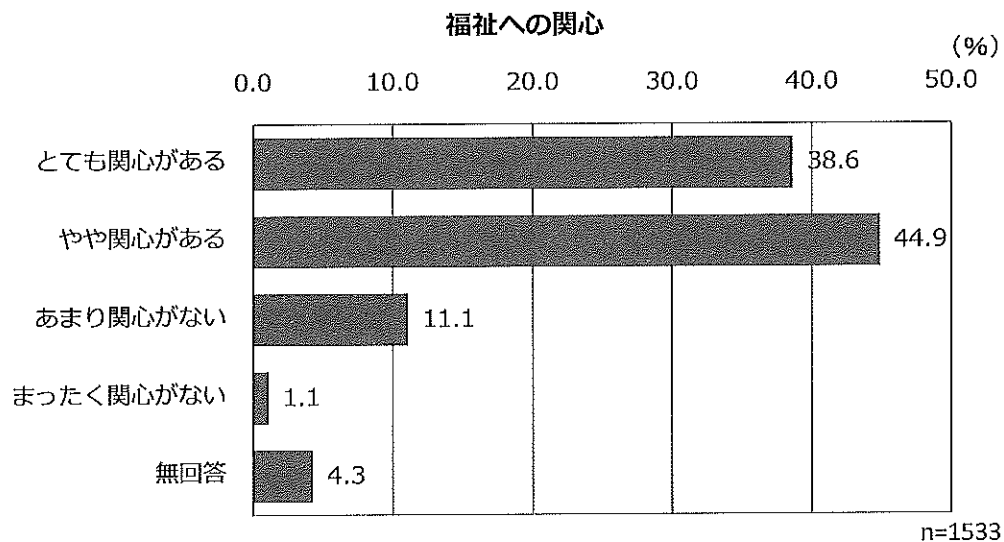
問7 住まいの地区（SA）



2. 福祉について

問8 福祉への関心（SA）

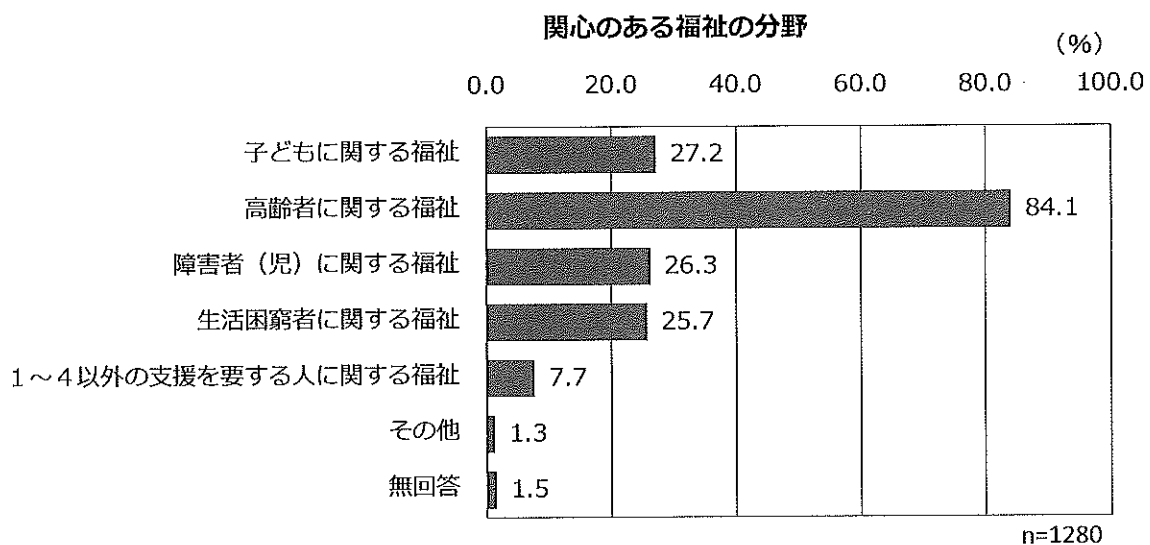
- ・「やや関心がある」が 44.9%で最も多く、次いで「とても関心がある」が 38.6%、「あまり関心がない」が 11.1%の順となっています。
- ・「やや関心がある」と「とても関心がある」を合わせた関心がある方は 83.5%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた無関心な方は 12.2%となっています。



問8-1 関心のある福祉の分野（MA）

○問8で「1. とても関心がある」と「2. やや関心がある」と回答した方限定設問

- ・「高齢者に関する福祉」が 84.1%で最も多く、次いで「子どもに関する福祉」が 27.2%、「障害者（児）に関する福祉」が 26.3%の順となっています。

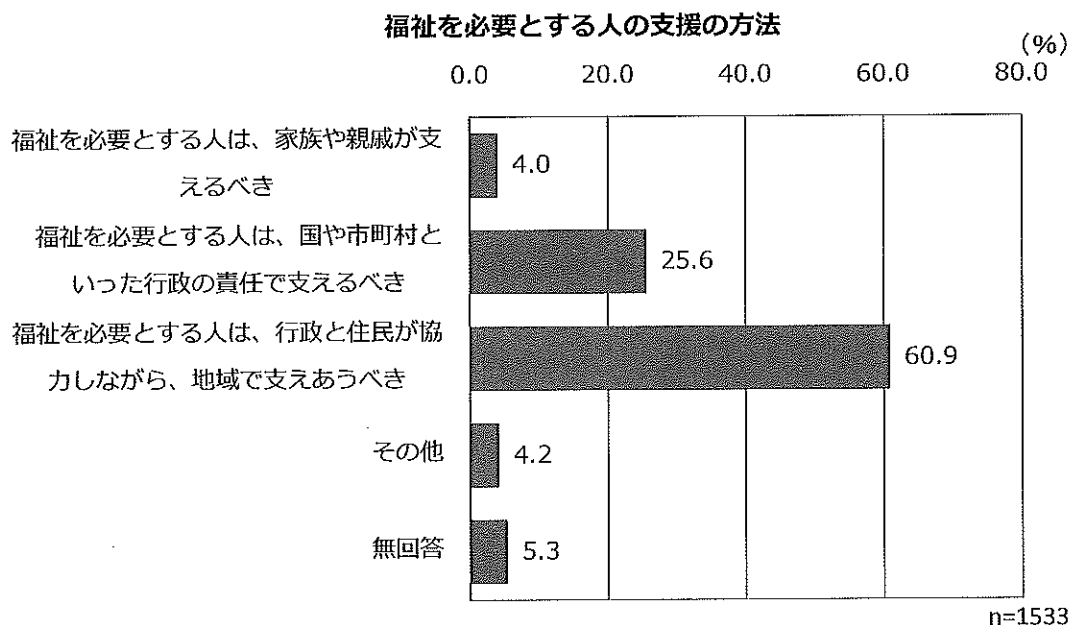


- ・どの年代においても「高齢者に関する福祉」が最も多くなっていますが、18～49 歳では「子どもに関する福祉」も6割以上を占めています。また、50～74 歳では、「生活困窮者に関する福祉」が第2位の関心分野となっています。

		合計	問8-1 関心のある福祉の分野							
			子どもに関する福祉	高齢者に関する福祉	障害者（児）に関する福祉	生活困窮者に関する福祉	1～4以外の支援を要する人に関する福祉	その他	無回答	非該当
全体		1280 100.0	348 27.2	1076 84.1	336 26.3	329 25.7	98 7.7	16 1.3	19 1.5	253
問 1 性別	男性	545 100.0	150 27.5	455 83.5	158 29.0	168 30.8	43 7.9	6 1.1	4 0.7	120
	女性	706 100.0	189 26.8	597 84.6	166 23.5	154 21.8	52 7.4	10 1.4	13 1.8	123
問 2 年齢	18～29歳	43 100.0	28 65.1	29 67.4	16 37.2	11 25.6	2 4.7	0 0.0	0 0.0	34
	30～49歳	165 100.0	107 64.8	128 77.6	57 34.5	42 25.5	13 7.9	2 1.2	1 0.6	43
	50～64歳	287 100.0	89 31.0	231 80.5	89 31.0	91 31.7	27 9.4	5 1.7	4 1.4	47
	65～74歳	374 100.0	72 19.3	320 85.6	92 24.6	114 30.5	28 7.5	3 0.8	5 1.3	36
	75歳以上	381 100.0	43 11.3	343 90.0	70 18.4	64 16.8	25 6.6	6 1.6	7 1.8	85
	問 7 住まいの地区	丹波地区	396 100.0	112 28.3	322 81.3	104 26.3	95 24.0	33 8.3	3 0.8	5 1.3
	瑞穂地区	410 100.0	117 28.5	348 84.9	108 26.3	112 27.3	30 7.3	4 1.0	3 0.7	83
	和知地区	445 100.0	110 24.7	382 85.8	113 25.4	115 25.8	32 7.2	9 2.0	9 2.0	82

問9 福祉を必要とする人の支援の方法（SA）

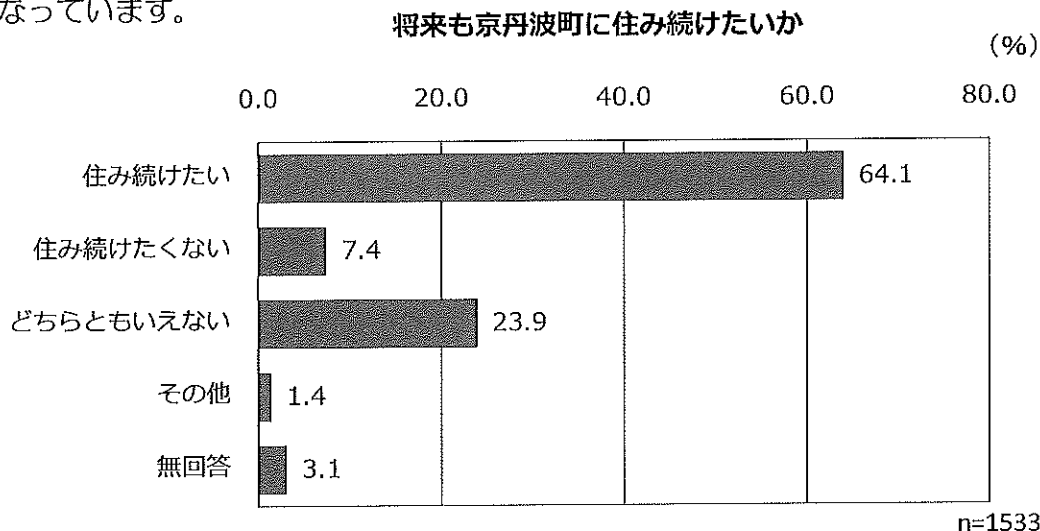
- ・「福祉を必要とする人は、行政と住民が協力しながら、地域で支えあうべき」が60.9%で最も多く、次いで「福祉を必要とする人は、国や市町村といった行政の責任で支えるべき」が25.6%、「その他」が4.2%の順となっています。



3. 地域との関わりについて

問 11 将来も京丹波町に住み続けたいか（SA）

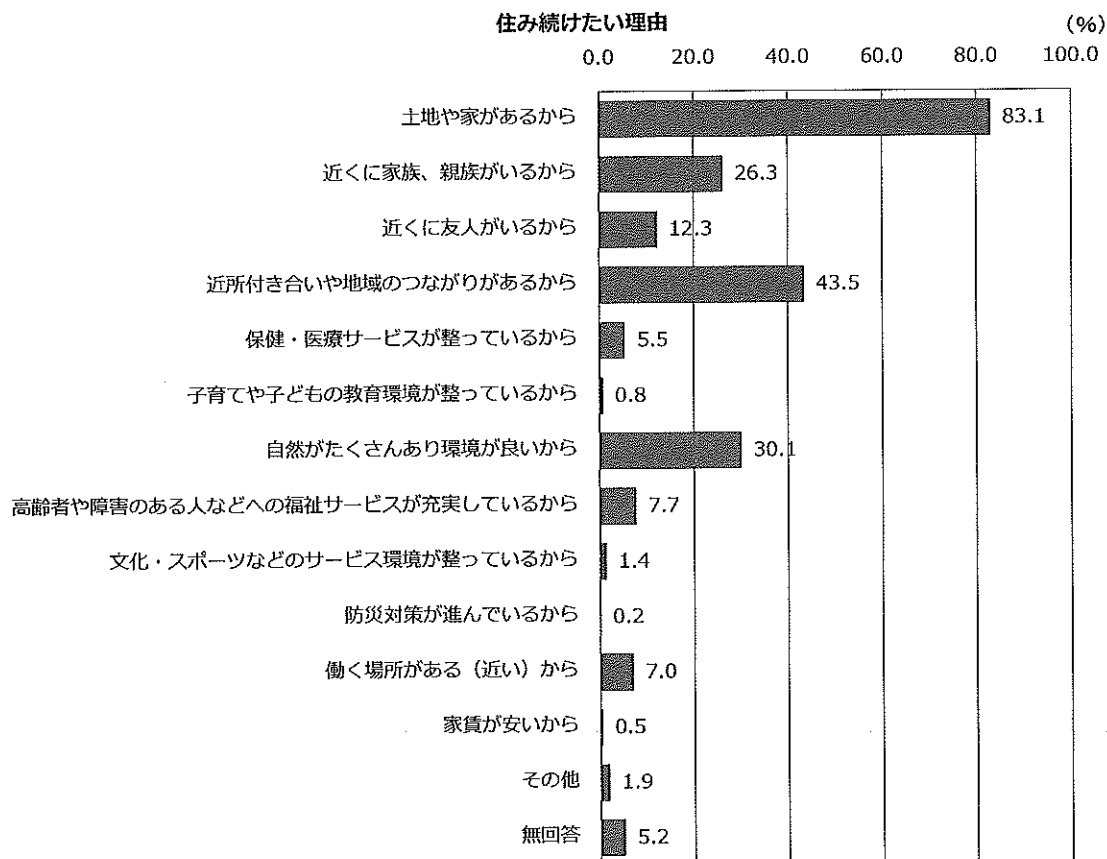
- ・「住み続けたい」が64.1%、「どちらともいえない」が23.9%、「住み続けたくない」が7.4%となっています。



問 11-1 住み続けたい理由（MA）

○問 11 で「1. 住み続けたい」と回答した方限定設問

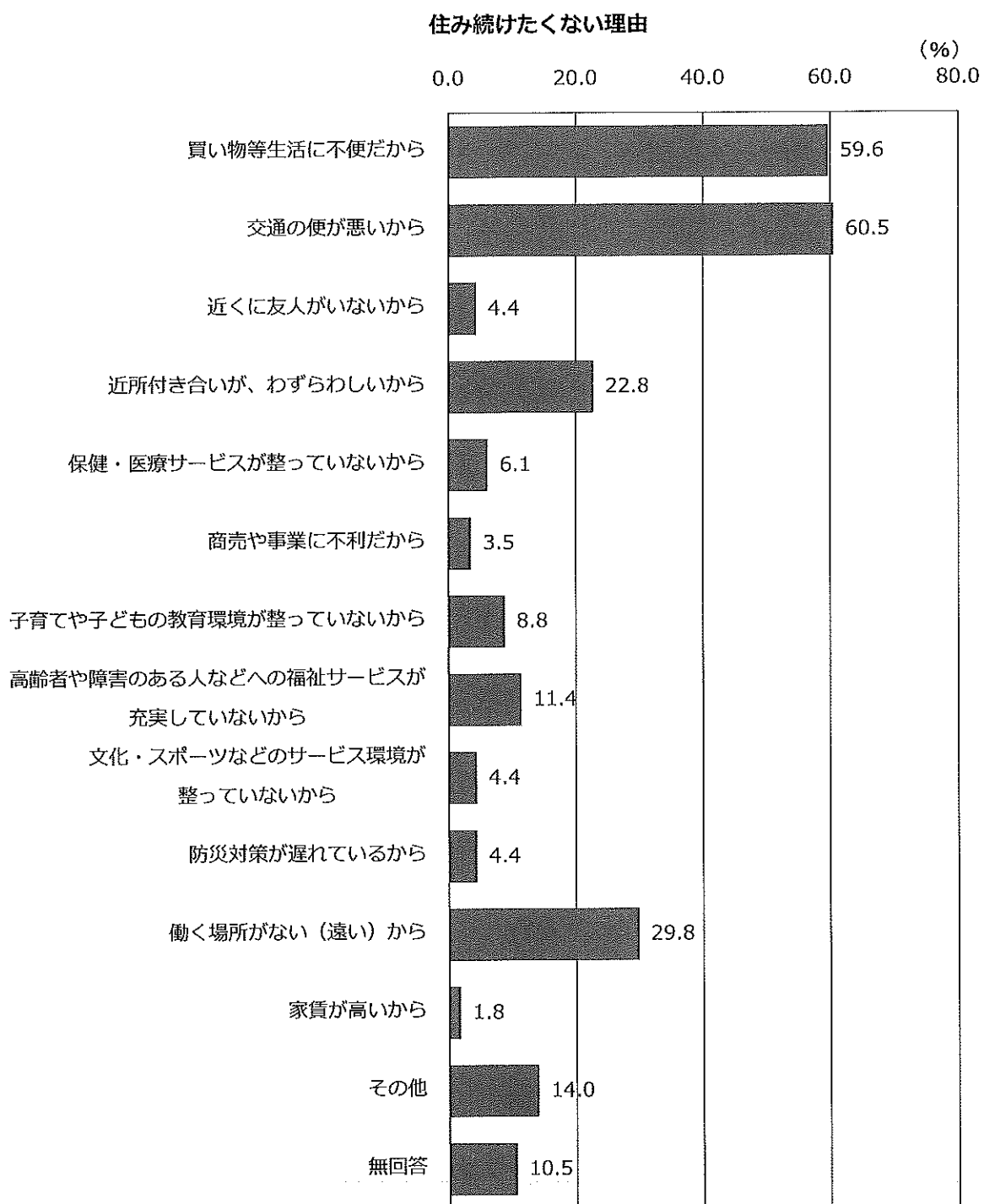
- ・「土地や家があるから」（83.1%）、「近所付き合いや地域のつながりがあるから」（43.5%）、「自然がたくさんあり環境が良いから」（30.1%）といった回答が多く、地域のサービスを住み続けたい理由とする回答は少なくなっています。



問 11-2 住み続けたくない理由

○問 11 で「2. 住み続けたくない」と回答した方限定設問

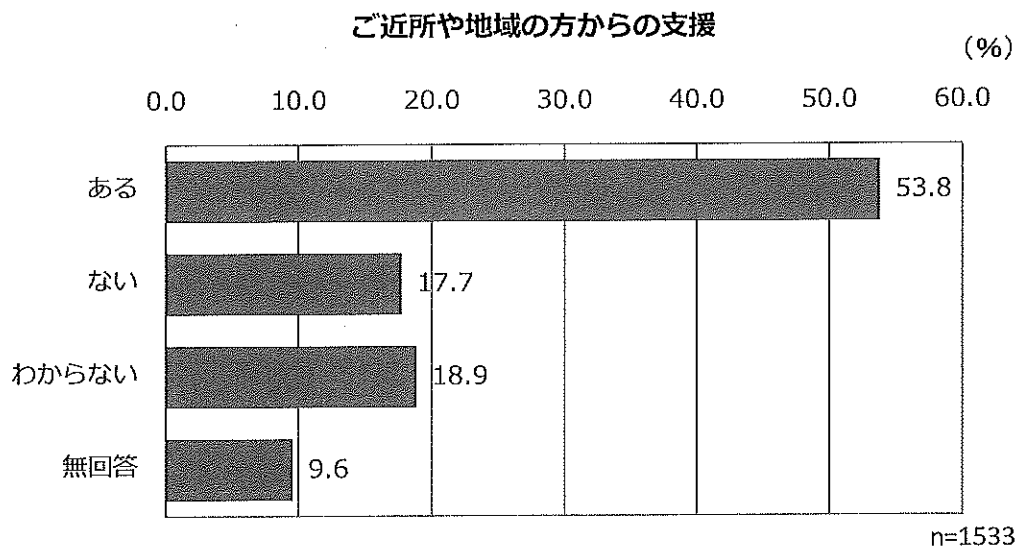
- ・住み続けたくない理由としては、「交通の便が悪いから」が 60.5%で最も多く、次いで「買い物等生活に不便だから」が 59.6%、「働く場所がない（遠い）から」が 29.8%の順となっています。また、「近所付き合いが、わずらわしいから」についても、22.8%と高くなっており、こうした“近所付き合い”は住み続けたい・住み続けたくない両方の理由として比較的高い割合を占めています。



n=114

問 12 ご近所や地域の方からの支援（SA）

- ・ご近所や地域の方からの支援は、「ある」が 53.8%、「わからない」が 18.9%、「ない」が 17.7%となっています。



問 12-1 どのような時に支援されたと感じたか（FA）

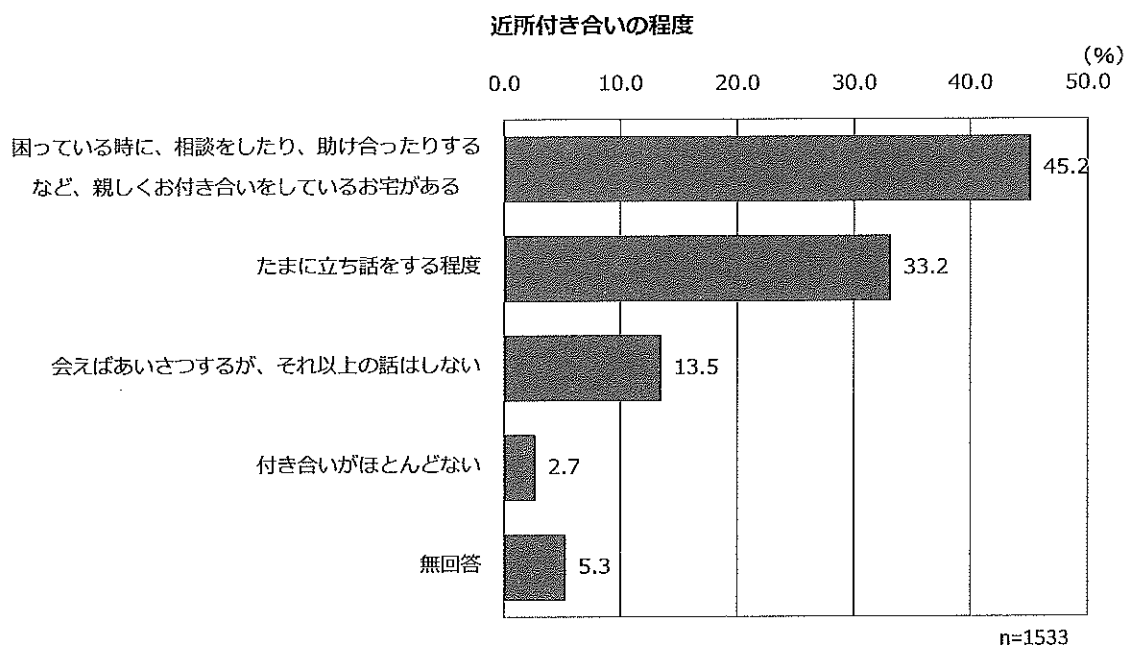
○問 12 で「1. ある」と回答した方限定設問

- ・問 12 で「ある」と回答した 825 人中 615 人から 773 件の回答があり、意見内容は以下の表のとおりです。

意見分類	件数
病気や災害・事故時など緊急時の対応	149
声かけ・話し相手・相談相手	131
食事や野菜のおすそ分け、差し入れ	59
葬儀（冠婚葬祭）	55
農作業等仕事	54
買い物や通院など移動・外出支援	51
地域行事・村用（選挙）	47
子どもの見守り・声かけ、子育て支援	41
高齢者の見守り・世話・介護	39
困ったとき	36
留守宅の管理・注意	19
日常生活	17
草むしり（草刈）	7
雪かき	6
その他	62

問 13 近所付き合いの程度（SA）

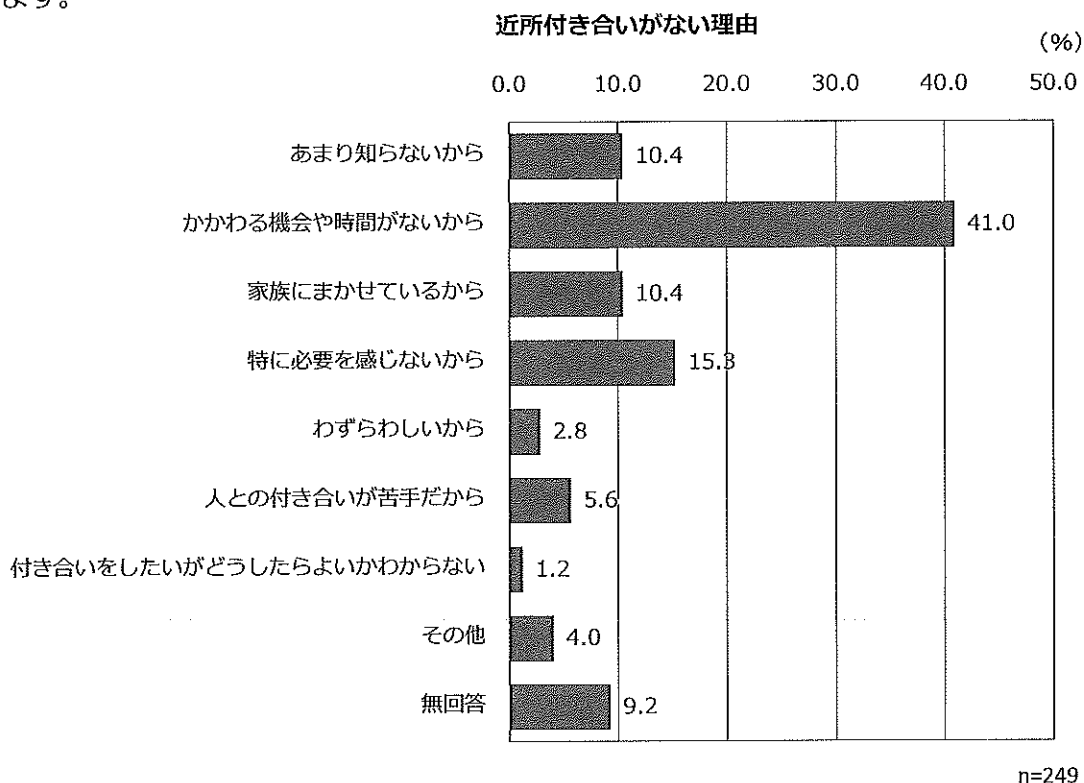
- ・「困っている時に、相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくお付き合いをしているお宅がある」が45.2%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」が33.2%、「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」が13.5%の順となっています。



問 13-1 近所付き合いがない理由（SA）

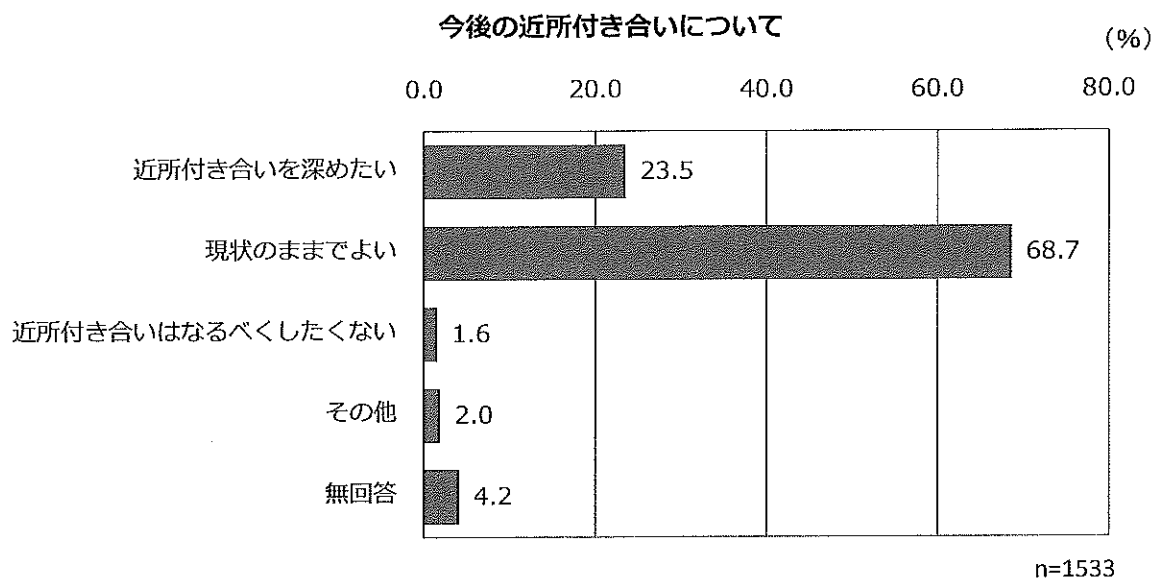
○問 13 で「3. 会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」「4. 付き合いがほとんどない」と答えた方限定設問

- ・「かかわる機会や時間がないから」が41.0%で最も多く、次いで「特に必要を感じないから」が15.3%、「あまり知らないから」と「家族にまかせているから」が10.4%の順となっています。



問 14 今後の近所付き合いについて（SA）

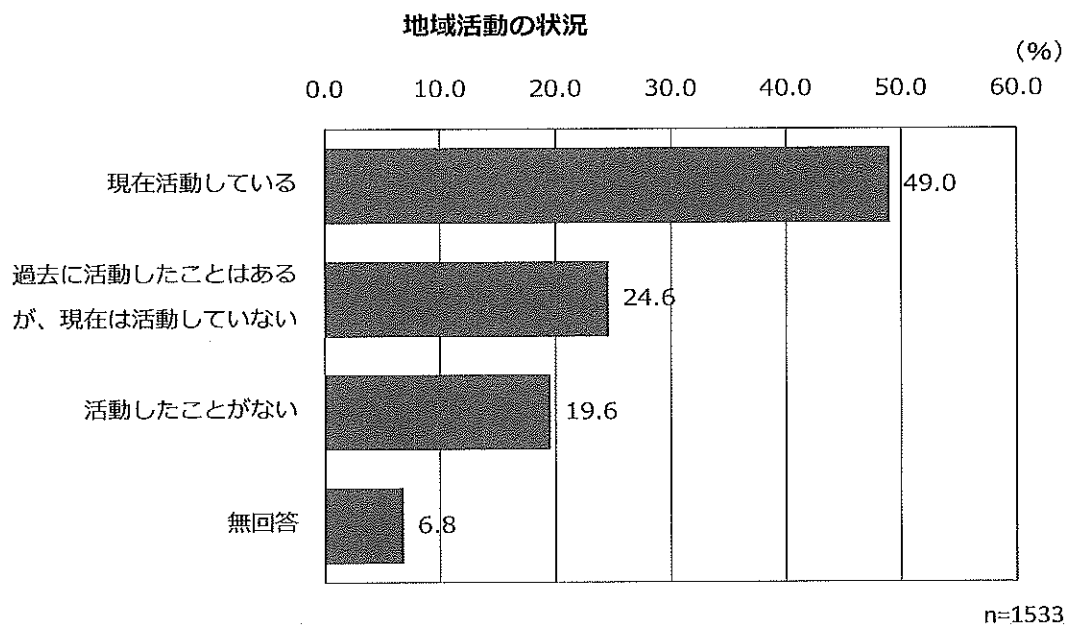
- ・「現状のままでよい」が 68.7%で最も多く、次いで「近所付き合いを深めたい」が 23.5%、「その他」が 2.0%の順となっています。



4. 地域活動やボランティア活動について

問 15 地域活動の状況（SA）

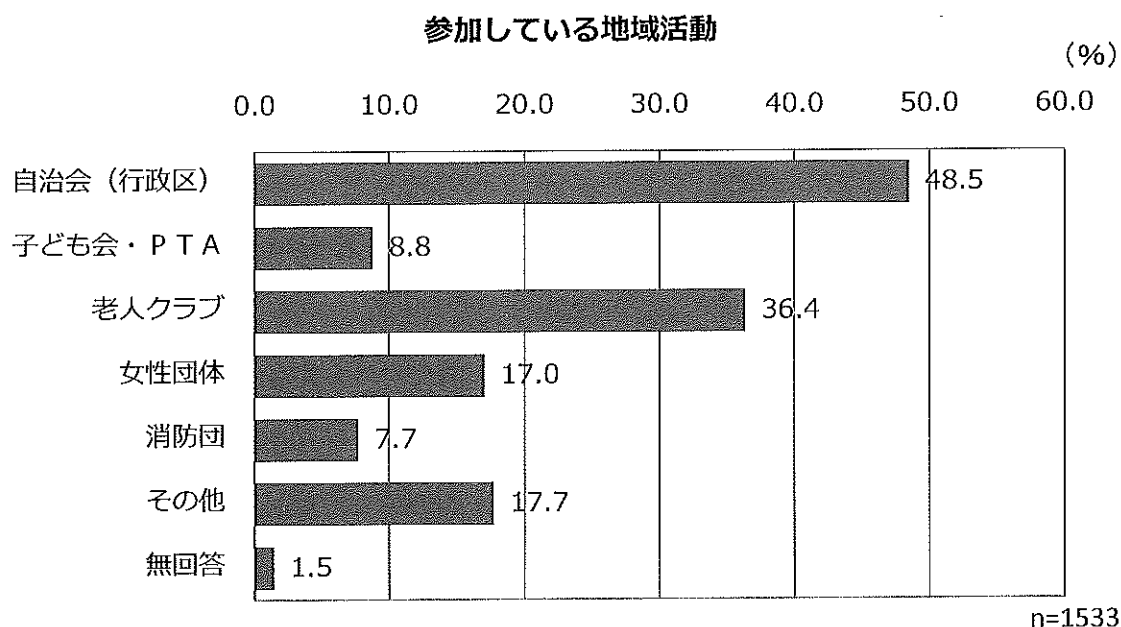
- ・「現在活動している」が 49.0%で最も多く、次いで「過去に活動したことはあるが、現在は活動していない」が 24.6%、「活動したことがない」が 19.6%の順となっています。



問 15-1 参加している地域活動（MA）

○問 15 で「1. 現在活動している」と答えた方限定設問

- ・「自治会（行政区）」が 48.5%で最も多く、次いで「老人クラブ」が 36.4%、「その他」が 17.7%の順となっています。



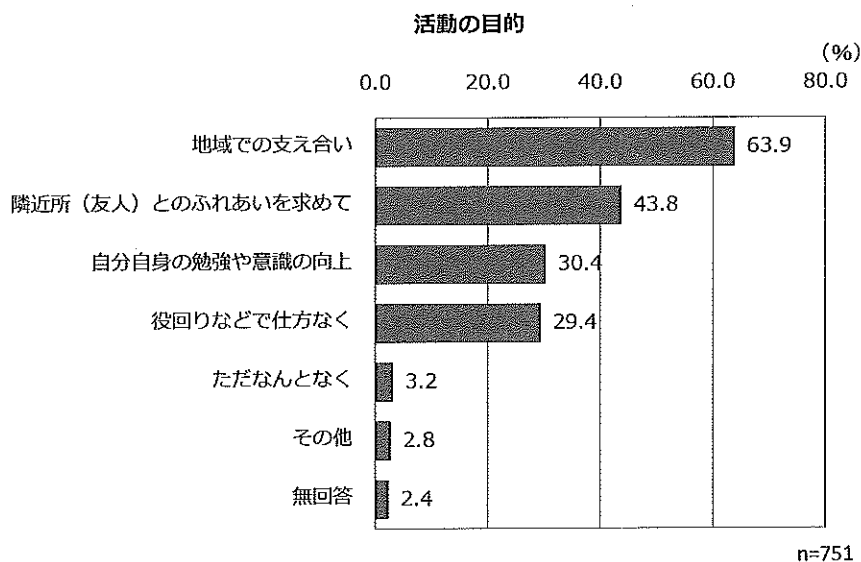
- ・性別では、“男性”は「自治会（行政区）」の68.8%、“女性”は「老人クラブ」の40.8%が最も多くなっています。
- ・年齢別では、“18～29 歳”は「消防団」の42.9%、“30～49 歳”は「子ども会・PTA」の51.9%、“50～64 歳”と“65～74 歳”は「自治会（行政区）」、“75 歳以上”は「老人クラブ」の81.8%が最も多くなっています。
- ・地区別では、“和知地区”は「老人クラブ」が49.8%と半数程度を占めて、他の地区に比べ多くなっています。

		合計	問15-1 参加している地域活動							非該当
			自治会 (行政 区)	子ども 会・PT A	老人クラ ブ	女性団体	消防団	その他	無回答	
全体		751 100.0	364 48.5	66 8.8	273 36.4	128 17.0	58 7.7	133 17.7	11 1.5	782
問 1 性別	男性	356 100.0	245 68.8	25 7.0	110 30.9	2 0.6	57 16.0	67 18.8	4 1.1	309
	女性	382 100.0	114 29.8	40 10.5	156 40.8	125 32.7	1 0.3	65 17.0	7 1.8	447
問 2 年齢	18～29歳	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	70
	30～49歳	108 100.0	39 36.1	56 51.9	1 0.9	15 13.9	43 39.8	11 10.2	2 1.9	100
	50～64歳	164 100.0	105 64.0	3 1.8	0 0.0	45 27.4	9 5.5	32 19.5	3 1.8	170
	65～74歳	224 100.0	125 55.8	3 1.3	73 32.6	45 20.1	2 0.9	59 26.3	2 0.9	186
	75歳以上	236 100.0	89 37.7	1 0.4	193 81.8	22 9.3	1 0.4	29 12.3	4 1.7	230
	問 7 住まい の地区	丹波地区	185 100.0	98 53.0	21 11.4	43 23.2	22 11.9	18 9.7	34 18.4	2 1.1
	瑞穂地区	252 100.0	115 45.6	16 6.3	74 29.4	46 18.3	15 6.0	61 24.2	4 1.6	241
	和知地区	301 100.0	145 48.2	28 9.3	150 49.8	58 19.3	25 8.3	37 12.3	5 1.7	226

問 15-2 活動の目的（MA）

○問 15 で「1. 現在活動している」と答えた方限定設問

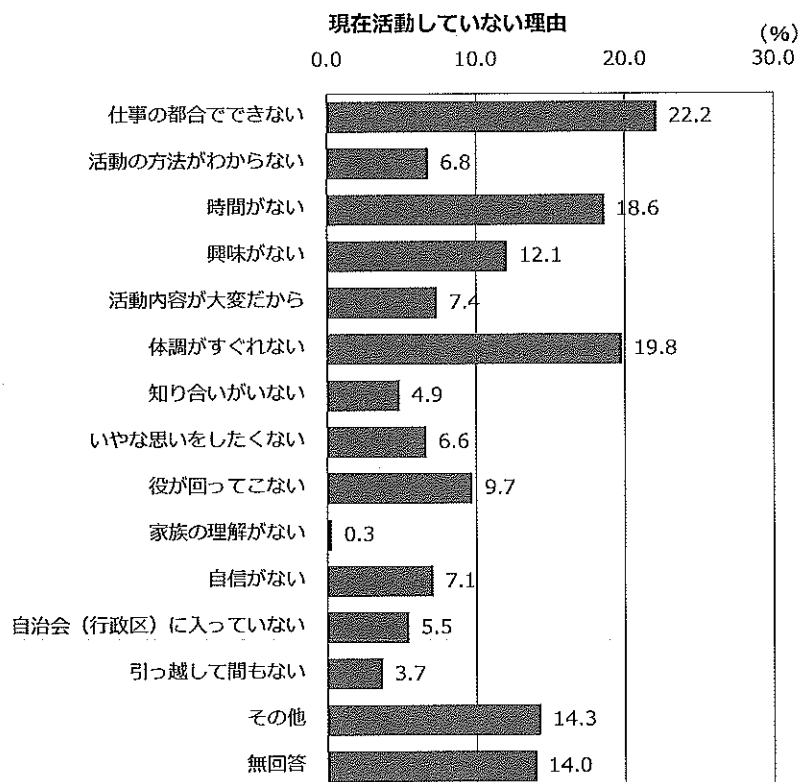
- ・「地域での支え合い」が 63.9%で最も多く、次いで「隣近所（友人）とのふれあいを求めて」が 43.8%となっており、多くの方にとって、“人とのつながり”がこうした活動の目的となっていることがわかります。また、「自分自身の勉強や意識の向上」についても 30.4%と多くなっています。



問 15-3 現在活動していない理由（MA）

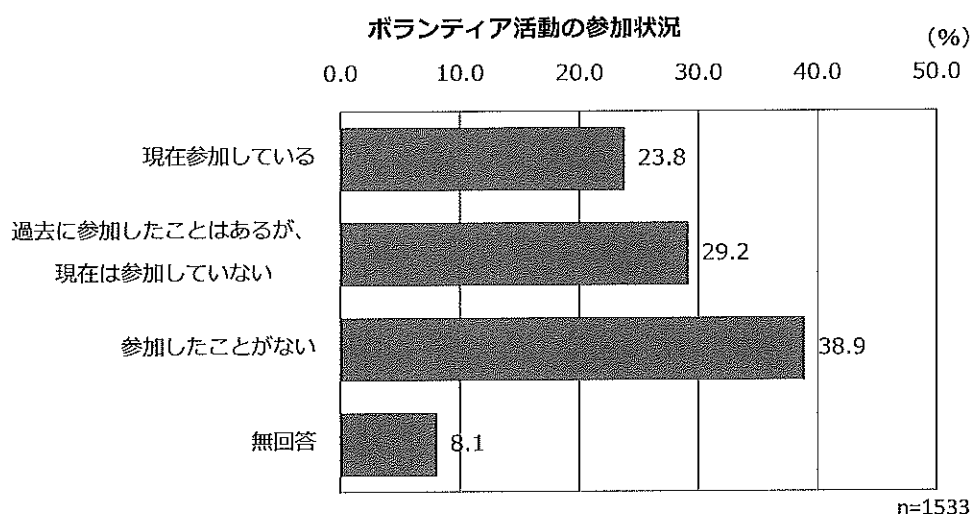
○問 15 で「2. 過去に活動したことはあるが、現在は活動していない」「3. 活動したことがない」と答えた方

- ・「仕事の都合でできない」が 22.2%で最も多く、次いで「体調がすぐれない」が 19.8%、「時間がない」が 18.6%の順となっています。



問 16 ボランティア活動の参加状況（SA）

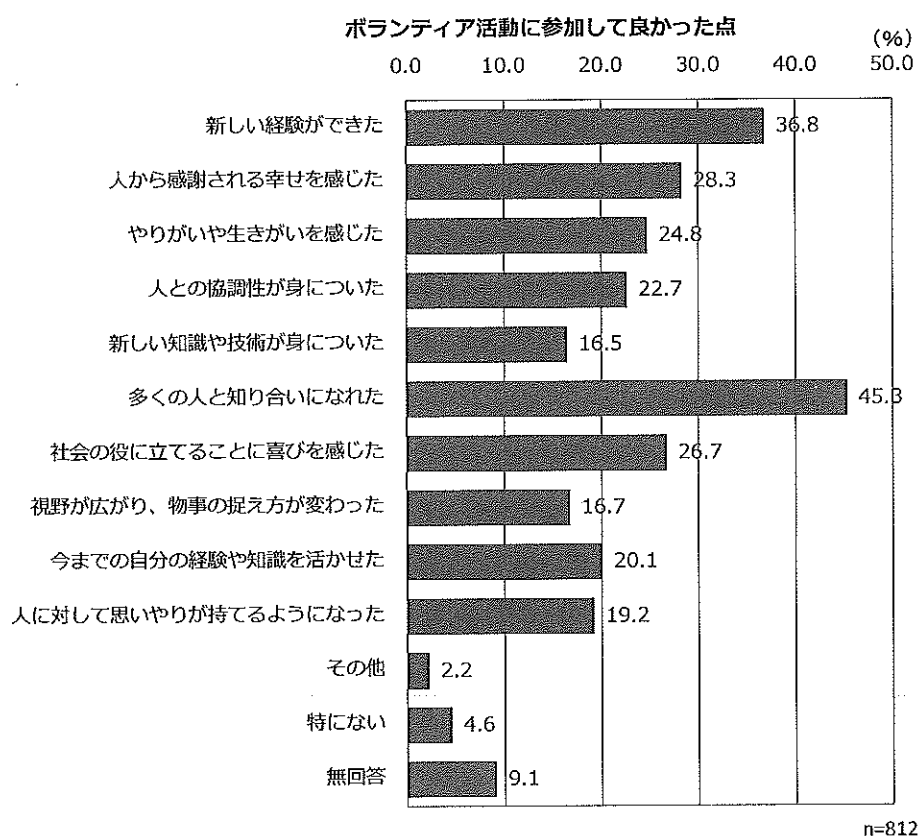
- ・「参加したことがない」が38.9%で最も多く、次いで「過去に参加したことはあるが、現在は参加していない」が29.2%、「現在参加している」が23.8%となっています。



問 16-2 ボランティア活動に参加して良かった点（MA）

○問 16 で「1. 現在参加している」「2. 過去に参加したことはあるが、現在は参加していない」と答えた方限定設問

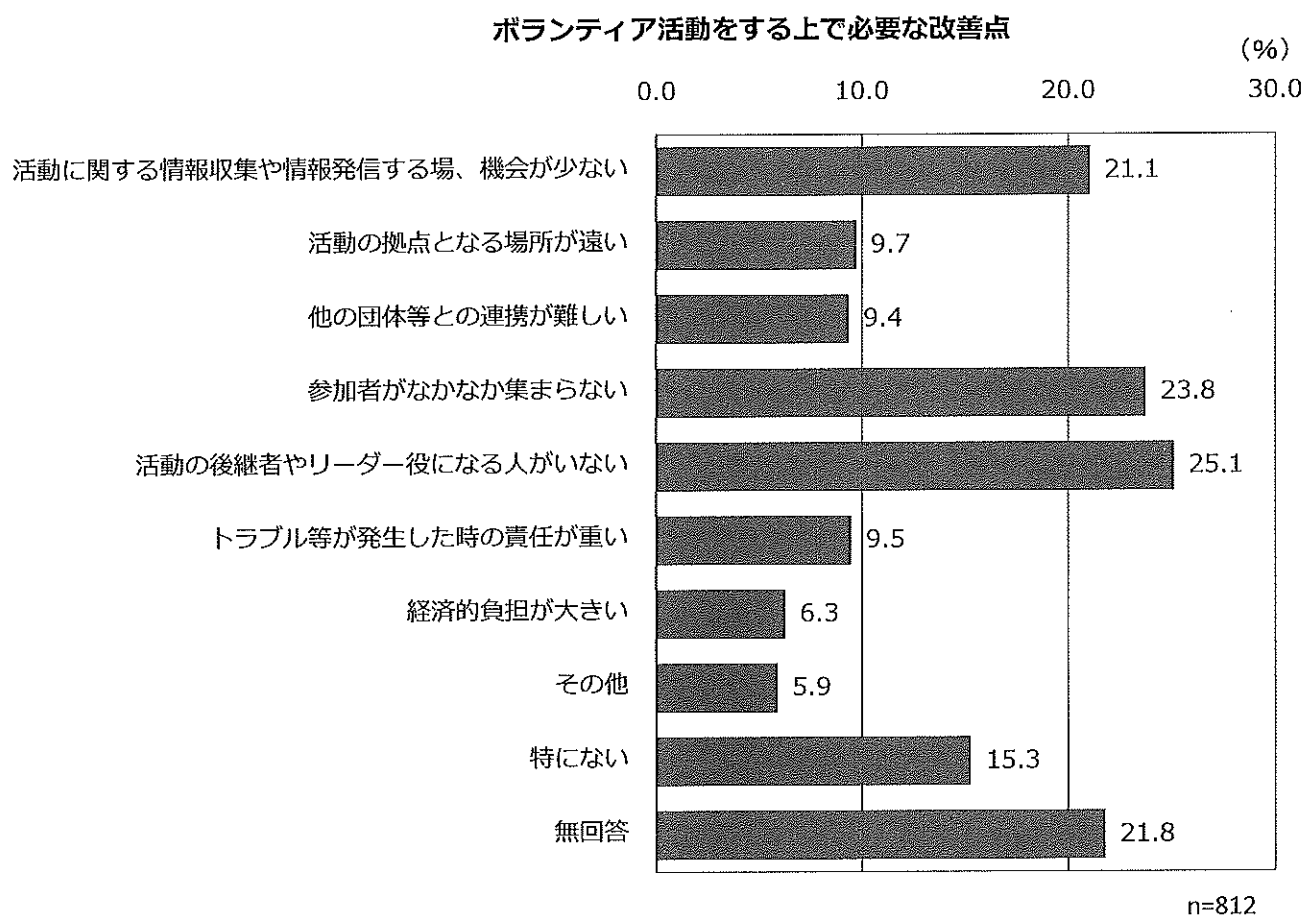
- ・「多くの人と知り合いになれた」が45.3%で最も多くなっており、次いで「新しい経験ができた」が36.8%、「人から感謝される幸せを感じた」が28.3%の順となっています。『問 15-2 活動の目的』と同様に、“人とのつながり”についての回答が高い割合を占めています。



問 16-3 ボランティア活動をする上で必要な改善点（MA）

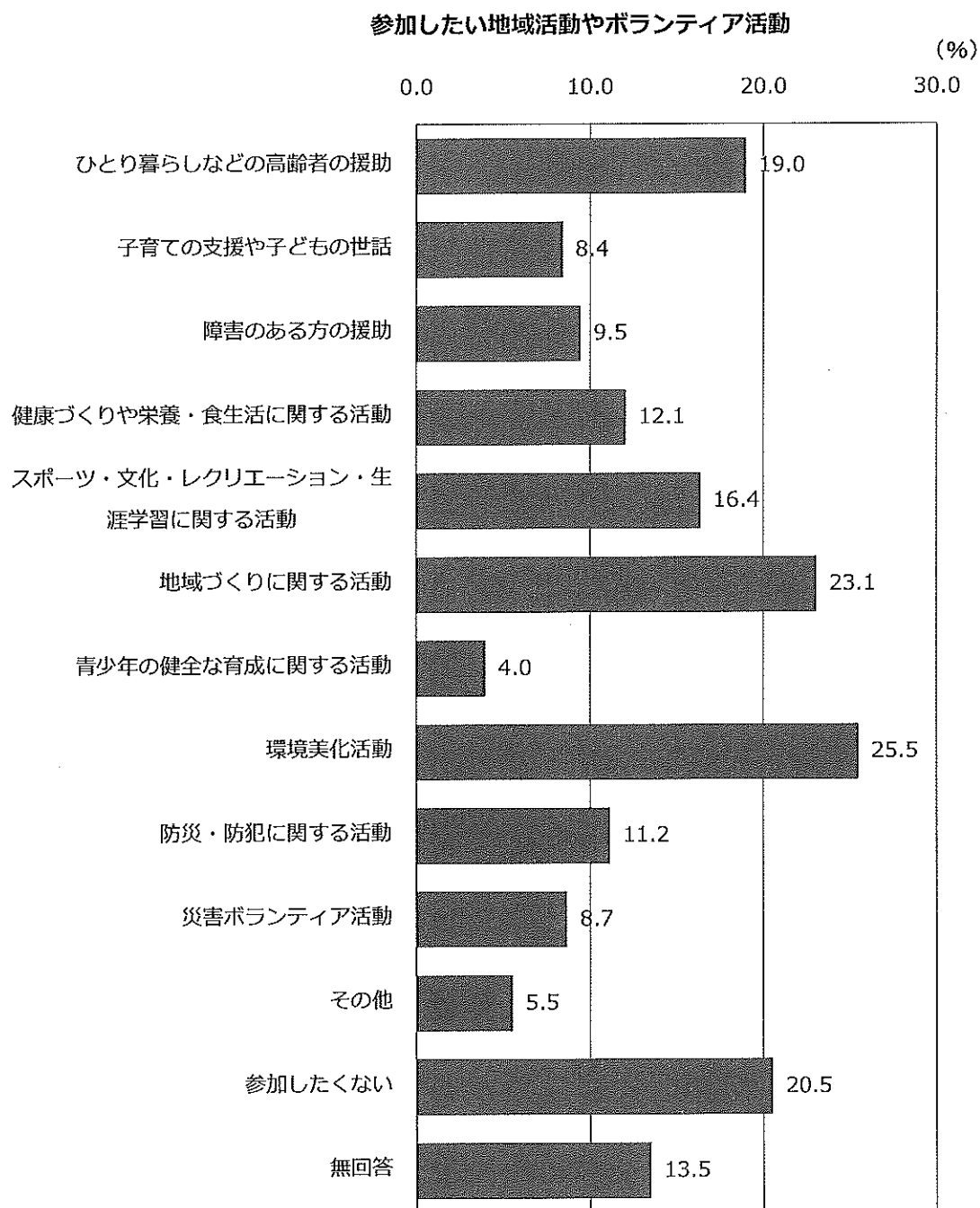
○問 16 で「1. 現在参加している」「2. 過去に参加したことはあるが、現在は参加していない」と答えた方限定設問

- ・「活動の後継者やリーダー役になる人がいない」が 25.1%で最も多く、次いで「参加者がなかなか集まらない」が 23.8%、「活動に関する情報収集や情報発信する場、機会が少ない」が 21.1%の順となっています。



問 17 参加したい地域活動やボランティア活動（MA）

- ・「環境美化活動」が 25.5%で最も多く、次いで「地域づくりに関する活動」が 23.1%、「参加したくない」が 20.5%となっています。

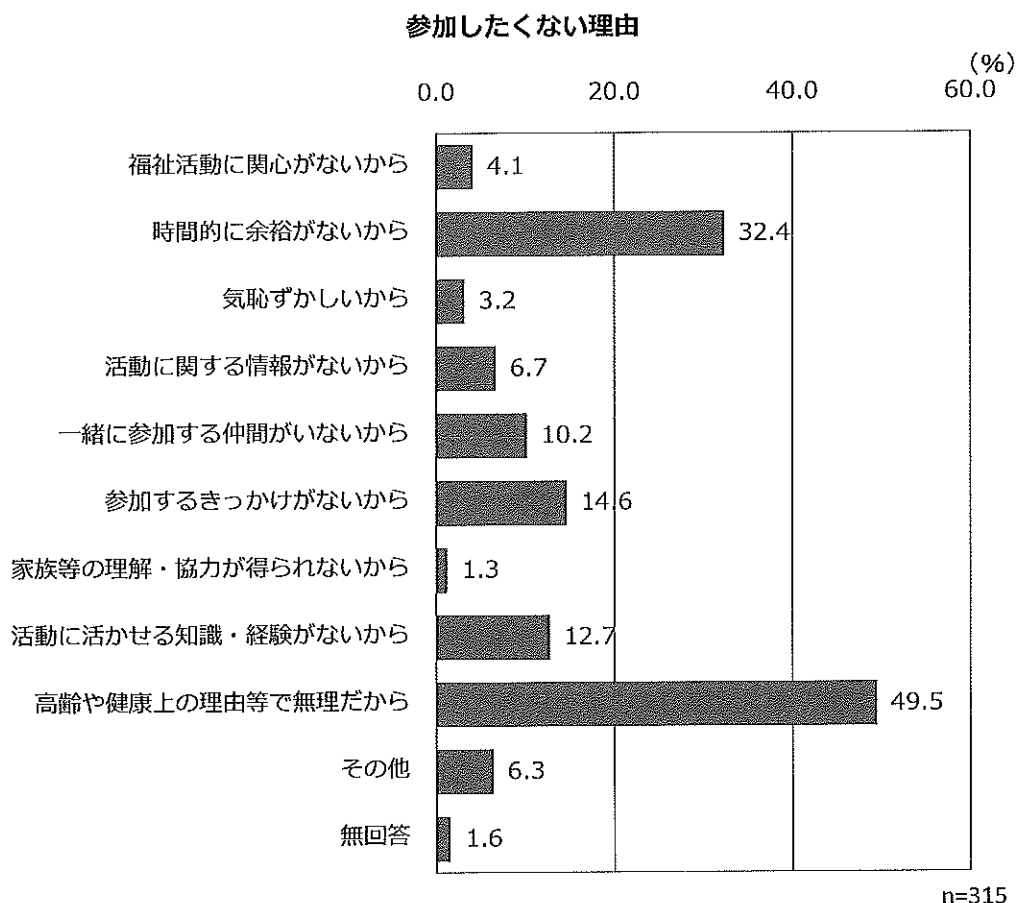


n=1533

問 17-1 参加したくない理由（MA）

○問 17 で「12. 参加したくない」と答えた方限定設問

- ・「高齢や健康上の理由等で無理だから」が 49.5%で最も多く、次いで「時間的に余裕がないから」が 32.4%、「参加するきっかけがないから」が 14.6%の順となっています。

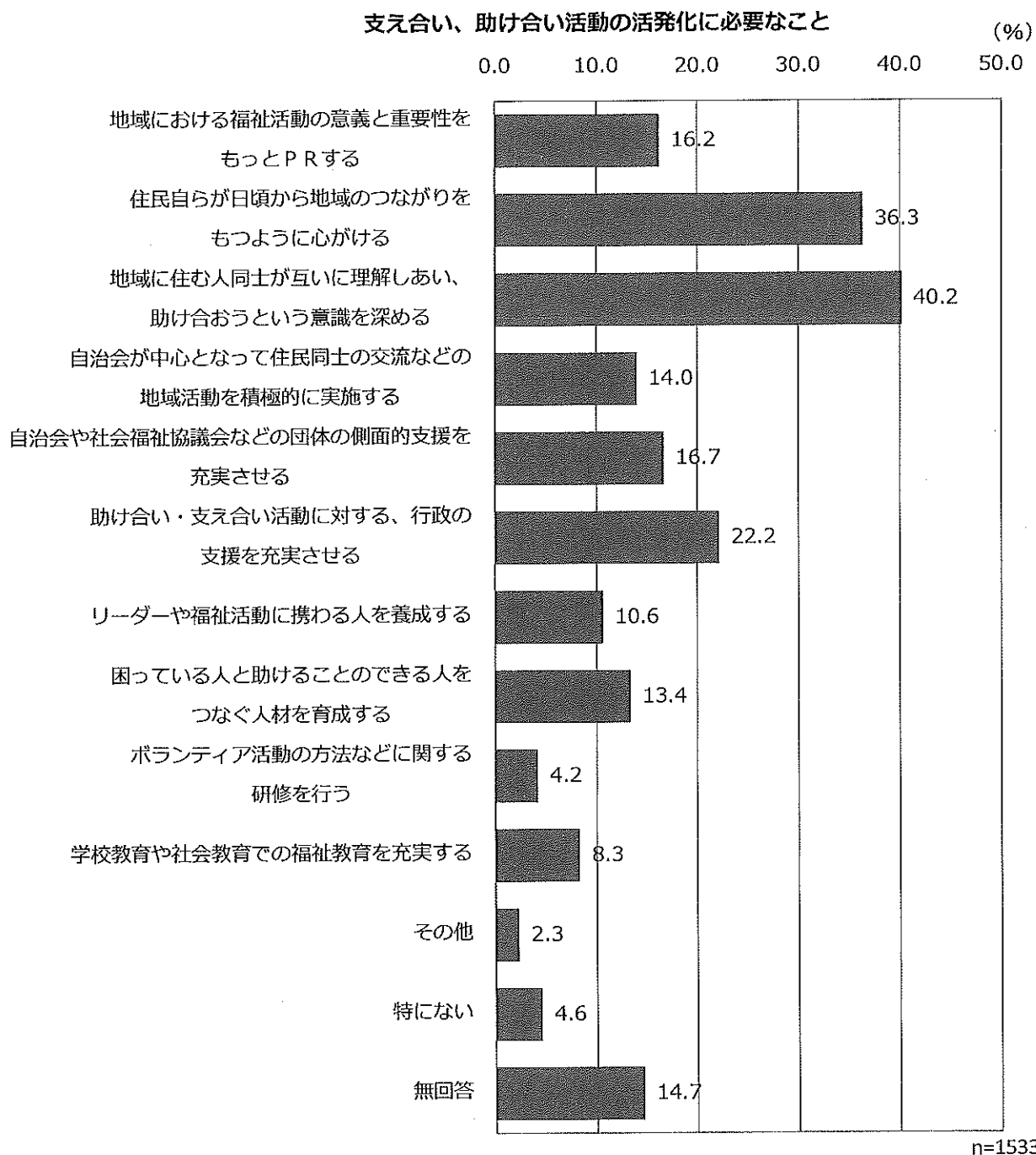


- ・年齢別では、“18～29 歳”、“30～49 歳”、“50～64 歳” は「時間的に余裕がないから」が一番の理由となっています。

		合計	問17-1 参加したくない理由										その他	無回答	非該当
			福祉活動に関心がないから	時間的に余裕がないから	気恥ずかしいから	活動に関する情報がないから	一緒に参加する仲間がないから	参加するきっかけがないから	家族等の理解・協力が得られないから	活動に活かせる知識・経験がないから	高齢や健康上の理由等で無理だから				
全体		315 100.0	13 4.1	102 32.4	10 3.2	21 6.7	32 10.2	46 14.6	4 1.3	40 12.7	156 49.5	20 6.3	5 1.6	1218	
問 1 性別	男性	124 100.0	5 4.0	39 31.5	4 3.2	7 5.6	9 7.3	20 16.1	0 0.0	15 12.1	62 50.0	10 8.1	2 1.6	541	
	女性	188 100.0	7 3.7	62 33.0	6 3.2	14 7.4	21 11.2	25 13.3	4 2.1	25 13.3	93 49.5	10 5.3	3 1.6	641	
問 2 年齢	18～29歳	21 100.0	3 14.3	12 57.1	0 0.0	2 9.5	4 19.0	8 38.1	0 0.0	3 14.3	3 14.3	0 0.0	0 0.0	56	
	30～49歳	42 100.0	3 7.1	24 57.1	5 11.9	3 7.1	7 16.7	9 21.4	2 4.8	6 14.3	5 11.9	1 2.4	1 2.4	166	
	50～64歳	72 100.0	2 2.8	42 58.3	1 1.4	8 11.1	11 15.3	14 19.4	0 0.0	15 20.8	14 19.4	8 11.1	2 2.8	262	
	65～74歳	71 100.0	2 2.8	20 28.2	3 4.2	6 8.5	4 5.6	12 16.9	2 2.8	13 18.3	40 56.3	6 8.5	1 1.4	339	
	75歳以上	108 100.0	3 2.8	4 34.9	1 0.9	2 1.9	6 5.6	3 2.8	0 0.0	2 1.9	94 87.0	5 4.6	1 0.9	358	
	問 7 住まいの地区	丹波地区	106 100.0	4 3.8	37 34.9	3 2.8	8 7.5	11 10.4	13 12.3	1 0.9	15 14.2	54 50.9	4 3.8	2 1.9	370
	瑞穂地区	102 100.0	6 5.9	34 33.3	3 2.9	6 5.9	12 11.8	17 16.7	3 2.9	15 14.7	48 47.1	9 8.8	0 0.0	391	
	和知地区	106 100.0	3 2.9	31 29.5	4 3.8	7 6.7	9 8.6	16 15.2	0 0.0	10 9.5	52 49.5	7 6.7	3 2.9	422	

問 18 支え合い、助け合い活動の活発化に必要なこと（MA）

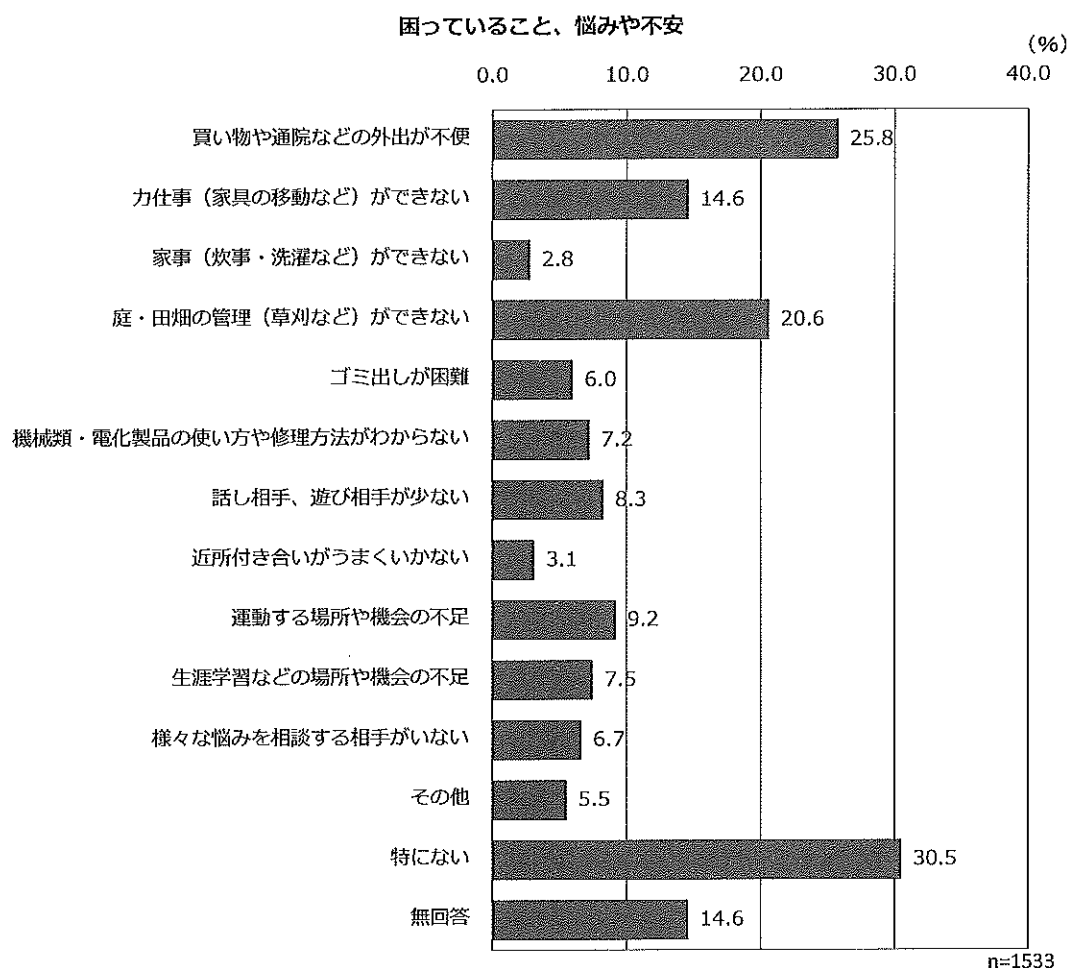
- ・「地域に住む人同士が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深める」が40.2%で最も多く、次いで「住民自らが日頃から地域のつながりをもつように心がける」が36.3%、「助け合い・支え合い活動に対する、行政の支援を充実させる」が22.2%の順となっています。



5. 地域における生活上の課題について

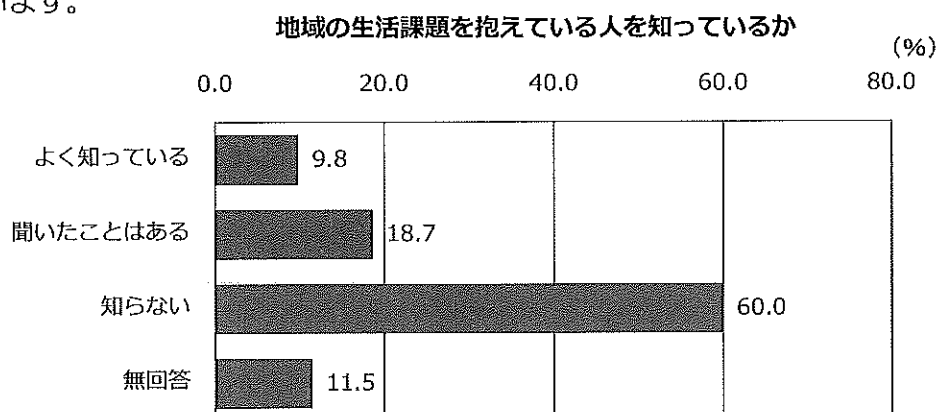
問 19 困っていること、悩みや不安（MA）

- ・「特にない」が30.5%で最も多くなっています。
- ・困っていることや悩みや不安としては、「買い物や通院などの外出が不便」が25.8%で最も多く、次いで「庭・田畑の管理（草刈など）ができない」が20.6%、「力仕事（家具の移動など）ができない」が14.6%の順となっています。



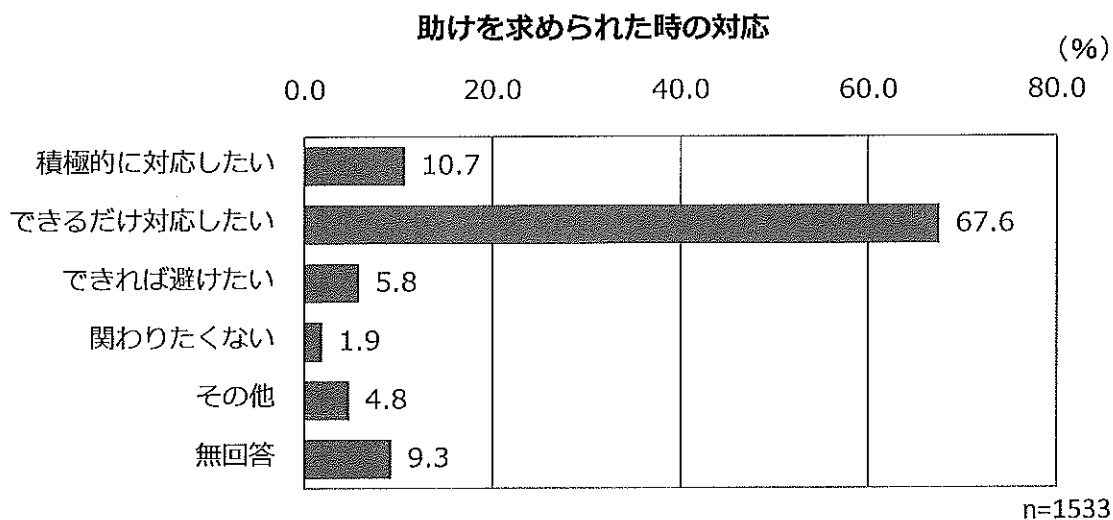
問 21 地域の生活課題を抱えている人を知っているか（SA）

- ・「知らない」が60.0%、「聞いたことはある」が18.7%、「よく知っている」が9.8%の順となっています。



問 22 助けを求められた時の対応（SA）

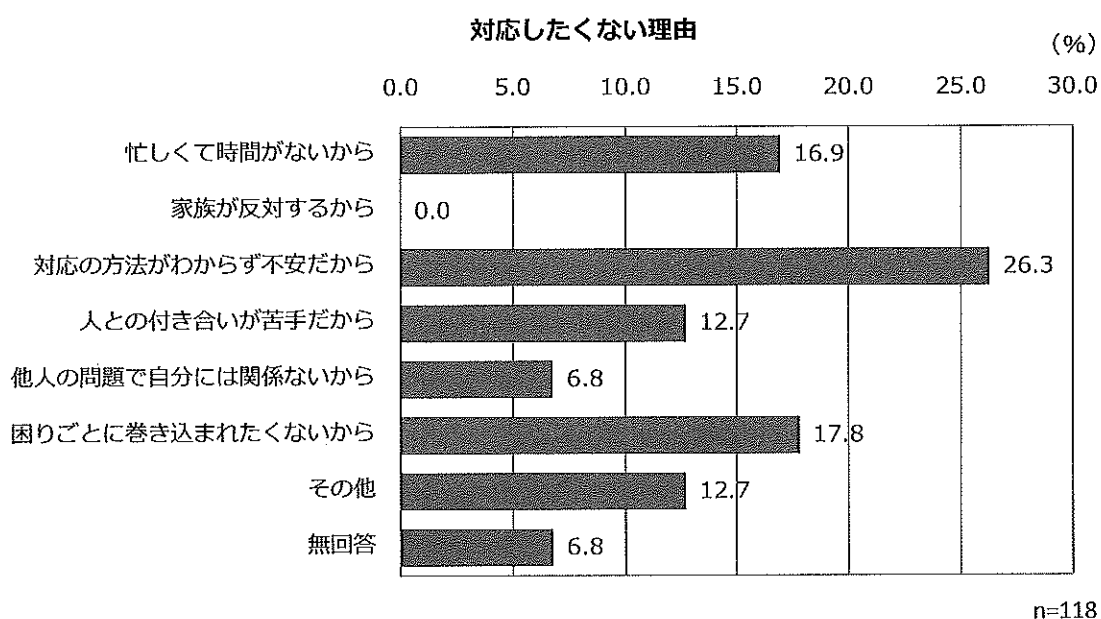
- ・「できるだけ対応したい」が 67.6%、「積極的に対応したい」が 10.7%で合わせると8割弱の方は、対応したいと回答しています。
- ・「できれば避けたい」は 5.8%、「関わりたくない」が 1.9%となっています。



問 22-1 対応したくない理由（SA）

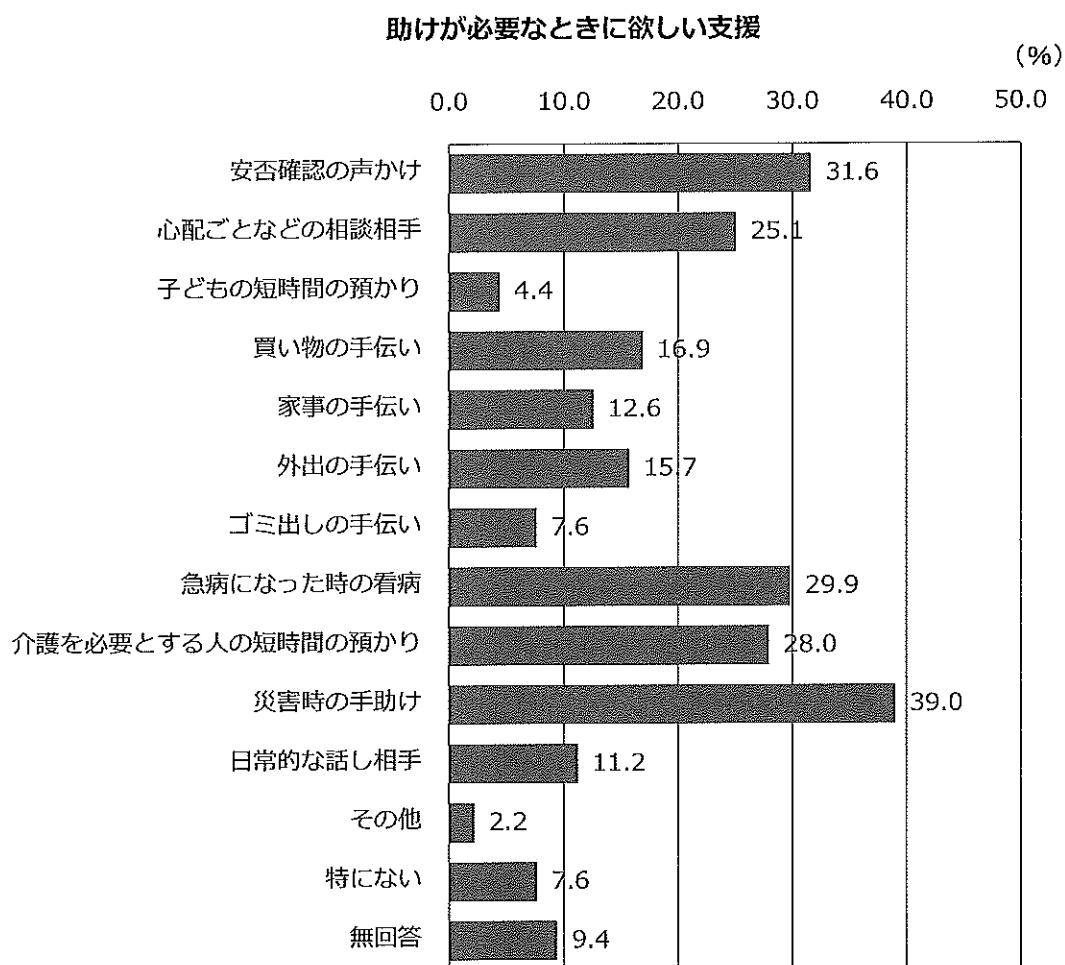
○問 22 で「3. できれば避けたい」「4. 関わりたくない」と答えた方限定設問

- ・「対応の方法がわからず不安だから」が 26.3%で最も多く、次いで「困りごとに巻き込まれたくないから」が 17.8%、「忙しくて時間がないから」が 16.9%の順となっています。



問 23 助けが必要なときに欲しい支援（MA）

- ・「災害時の手助け」が 39.0%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」が 31.6%、「急病になった時の看病」が 29.9%の順となっています。

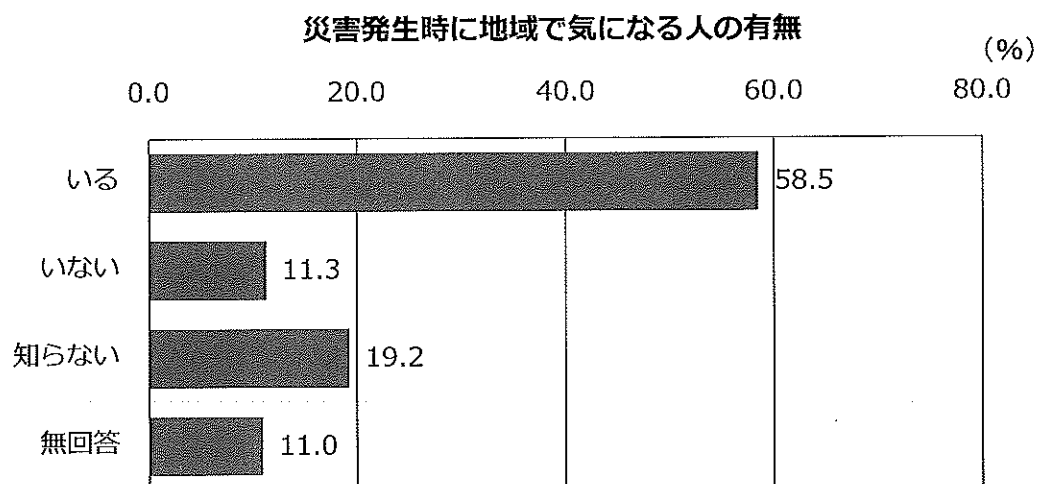


n=1533

6. 災害時における助け合いについて

問 24 災害発生時に地域で気になる人の有無（SA）

- ・「いる」が 58.5%、「知らない」が 19.2%、「いない」が 11.3%となっています。

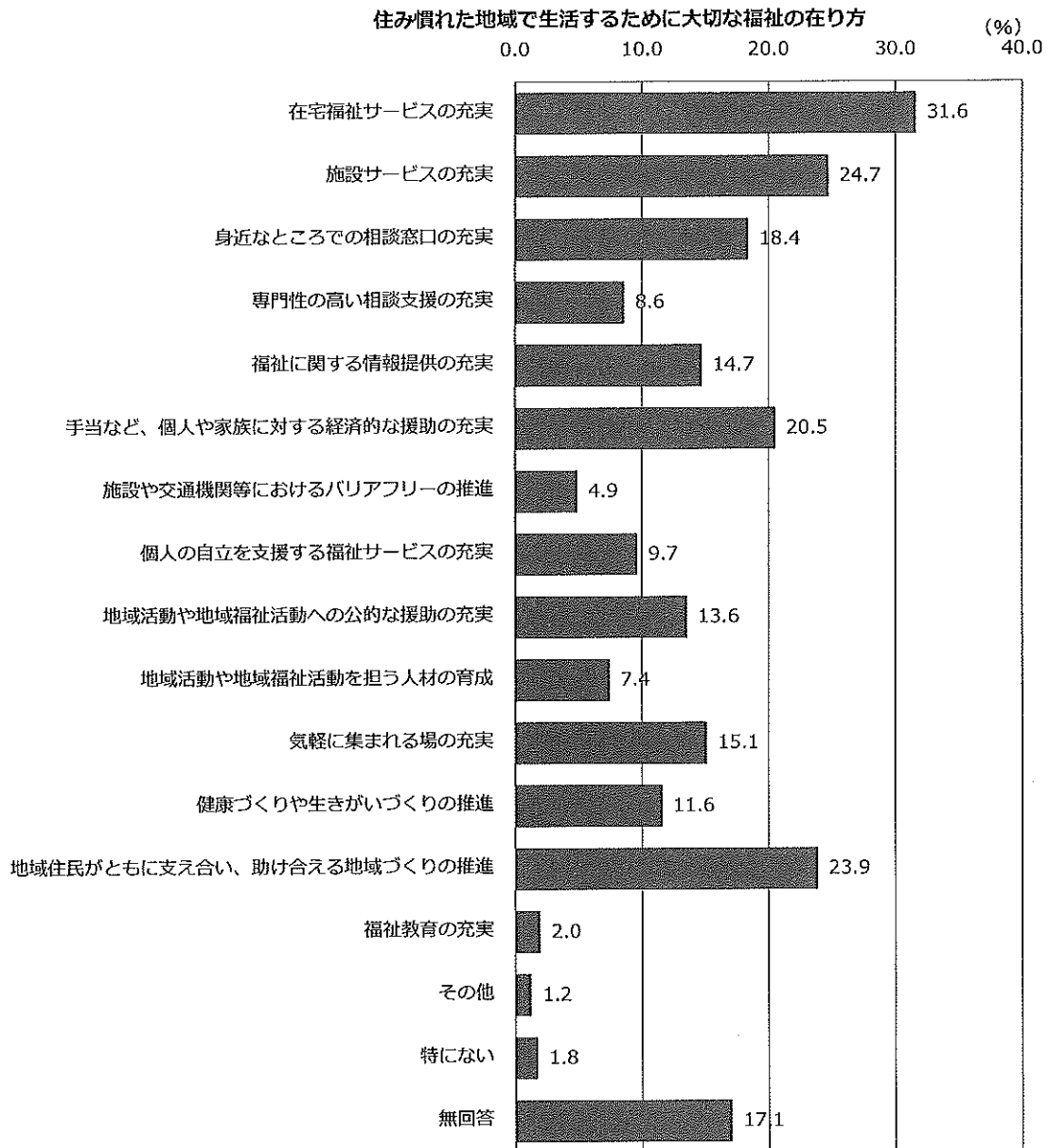


n=1533

7. これからの福祉のあり方について

問 28 住み慣れた地域で生活するために大切な福祉の在り方（MA）

- ・「在宅福祉サービスの充実」が31.6%で最も多く、次いで「施設サービスの充実」が24.7%、「地域住民がともに支え合い、助け合える地域づくりの推進」が23.9%の順となっています。



n=1533

京丹波町地域福祉計画策定スケジュール（予定）

年度	時期	策定委員会等
平成27年	8月中旬	業務委託業者の決定
	8月26日（水）	第1回策定委員会 ◇委嘱状の交付 ◇計画策定スケジュールの概要説明 ◇講演
	9月～10月	アンケート素案作成
	11月2日（月） 11月18日（水）	作業部会 第2回策定委員会 ◇意見交換 ◇アンケート調査の実施について
	12月11日（金） ～25日（金）	アンケート調査
	1月～2月上旬	アンケート調査 集計・分析
	2月19日（金） 2月26日（金）	作業部会 第3回策定委員会 ◇アンケート調査結果（中間）報告 ◇次年度に向けた協議
平成28年	4月中旬～8月初旬	関係団体等合同懇談会 ワークショップ
	6月初旬	第4回策定委員会
	8月下旬	第5回策定委員会
	12月	第6回策定委員会
	12月～1月	○パブリックコメントの実施
	2月	第7回策定委員会 ◇最終取りまとめ
	3月	地域福祉計画策定